

タケシール AE 2 1 1 プライマー

業務用

水系低臭で、作業性に優れたながら、従来の溶剤型2液エポキシ系を凌ぐ下地接着性と親水性を実現したウレタン防水・床材用下塗り材です。

施工直後も含めて低臭で、硬化後は早期に臭いが消滅しますので、外部のみならず施工時と養生期間の通気しにくい環境であれば、内部での使用も可能になりました。外部やピット内部の作業にも、溶剤臭や引火性がなくなったので、環境・作業者ならびに、周囲への配慮に適った下塗り材です。

用途 ○屋上・バルコニー・軒下・階段等外部の防水工事・塗り床工事の下塗りで、下地がモルタル面・鉄板の場合に適します。

※ウレタン防水・ウレタン系床材の塗り重ねには、ウレタン系 No.400 プライマーをご使用ください。

○断熱床や、食品工場・学校等の床・防水工事に適します。

○水槽・地下構内の防水工事に適します。

特徴 ○モルタル・コンクリート・スレートなど、無機質の素材への浸透性に優れ、内部深く浸透することで、表面部分の強度を内部から改善し、接着力の強化と共に、外気や水分の浸入を防ぎます。

○劣化の進行した古い下地の表面強度の改善と、中性化など劣化の進行抑制に、顕著な効果を示します。

○耐水性、耐薬品性、特に耐アルカリ性に優れ、タケシールエポキシ床用など耐薬品性塗料材の下塗りに適します。

○A液・B液の混合液の可使用時間は2時間ありますので、余裕を持って作業することが可能です。ただし、**2時間を経過した混合液は反応を終了していますので、ご使用にならないで下さい。**また、小分けは、**A液・B液ともほぼ同比重ですから、計量カップにて同じ容量を計ってください。**

荷役
散布量 8kgセット、2kgセット (配合重量比A液:B液=1:1 ポリ容器)

下地の種類	塗布回数	標準散布量
コンクリート・モルタル面	2	0.3kg以上/m ²
スレート板	1	0.1kg/m ²
鋼板 (脱脂・目荒し後)	1	0.1kg/m ²

【注意】コンクリート・モルタル面に塗布する場合は、1回当り(0.15kg/m²)の塗布量で、充分に浸透するよう、溜りが発生しないよう注意しながら、2時間以内に塗布できる量の混合液を作成し、たっぷりとは垂せずそのまま、塗布します。

乾燥後、再度塗布し、表面が白色に仕上がれば上塗り塗布を塗布します。

塗布間隔:1回目塗布後約2時間 2回目以降3時間以上 (気温25℃湿度50%以下)

下地によっては、強く吸い込まれてしまう場合があります。その場合は、再度同様の塗料を繰り返します。

または、あらかじめ、当社下地調整材「タケモルカチオンEV+タケモルフィラー-A-1」で下地処理した後に、当商品をご使用ください。

乾燥時間 晴天時気温25℃の場合で3~4時間

硬化を確認後 上塗りの塗布作業が可能です。

ただし、下地温度が10℃以下になることが予想される場合は、作業をしないで下さい。

性状

項目	A液	B液
外觀	淡黄色透明液体	乳白色
比重（20℃）	1.1	1.0
不揮発分（%）	2.8	3.5
配合比（重量比）	100	100
混合物の可使用時間（25℃）	混合後2時間	
指触乾燥（25℃）	3～4時間	
上塗り可能時間	4ヨ以内 （万一4日以上放置の場合は、サンドペーパー等で面を荒らしてから再塗装してください。）	

接着強度 試料作成条件—基材に試験体を塗布、24時間養生後、タケシールハヤテを塗布7日間養生

引張り試験（下地セメント）	2.4 kg f 以上/cm ²	基材破壊
引張り試験（下地鋼板）	1.8 kg f 以上/cm ²	界面破壊

使用上の注意事項

- A液とB液の攪拌混合を始めた時刻から、2時間以上経過した混合液は使用しないでください。
下地との接着強度不足を生じる原因となります。
- 手間のかかる作業では、必ず2時間以内で使い切れる量を適切な重量計で、小分けして少量ずつ混合してご使用下さい。
- 下地温度が、10℃に満たない場合はご使用にならない下さい。
- 降雨が予想される場合は施工をしないで下さい。
- 河川への流出を避けて下さい。
- 取扱い中は、保護メガネ、保護手袋を着用してください。
- 容器からこぼさないよう取り扱ってください。こぼれた場合には、布で拭き取り、汚染した布は産業廃棄物として処分して下さい。
- 貯蔵は、必ずフタをし、直射日光を避け40℃以下5℃以上の一定の場所を定めてください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 内容物は、使い切ってから廃棄してください。
- 他の用途には、使用しないでください。
- 指定された材料以外とは、混合しないでください。
- 呼吸器やヒフが敏感なアレルギー体質の方の近くでは、使用しないでください。